

# 福岡広州ライチ倶楽部

# ライチ便り No. 36

~福岡広州ライチ倶楽部会報 2017年10月号~ http://lychee-club.jp/

さわやかな秋を迎えました。今年は残暑の季節が長く冬の到来が早いので、秋らしい 季節が短いと予報されていますが、であればなおのこと、秋を存分に楽しみましょう。 今回は、8月から10月にかけての活動を振り返ります。

## 劇団道化「三匹のこぶた」福岡公演



太宰府に拠点を置いて活躍している劇団 道化は、わがライチ倶楽部の団体会員です。 児童劇を主として、これまで国内の小学校 で巡回公演をし、中国や韓国などでも公演 して子供たちを喜ばせてきました。北京、 広州、上海、雲南など中国での公演では、 なんと中国語で演じて、多くの子供たちの 心をわしづかみにしています。

今年は福岡市内在住の中国人の子供たち を対象に、8月20日城浜保育園で公演しま

した。会場では、興奮して立ち上がる子供たちを役者がなだめながら演じる場面もあっ て、大いに盛り上がりました。

### 広州大学の学生たちと"おにぎり交流"

これまで福岡市国際部と姉妹都市委員会の主 催で行われてきた、日本語を学ぶ大学生によるイ ンターンシップ交流が今年からなくなり、ライチ 倶楽部として行ってきた「インターン生一日バス ハイク」もできなくなりました。

そこへ「春暉国際学校が広州大学の学生を 1 ヶ月受け入れて勉強させている。その間、日本人



の生活文化に触れてもらうための"日本食作り"交流を行う」という情報がもたらされ、 事務局では来年からの交流の可能性を求めて、さっそく参加させていただきました。

春吉公民館で行われたこの会には広州大学の学生 8 人と 20 人程の有志が集まって、おにぎり 2 種、豚汁、肉じゃがを一緒に作りました。若い人の参加も多く、どの人が日本人か中国人かわからないような、打ち解けた雰囲気で楽しみました。

こうした若い世代の交流が来年からも継続できるよう願っています。

#### 秋恒例の「飲茶会」をおこないました

今年も福新楼の総料理長王和雄さんが、 エビを使った点心など3種類の手軽にできて おいしい料理を教えてくださいました。子ども 連れの若い会員の参加もあって、平均年齢 が一気にさがり、活気ある会になりました。

作った料理を賞味してから聞いた奥田聖さんの「博多と中国の歴史的なつながり」と題する講演は、「目からうろこ」の感があり、大変興味深いものでした。



#### 広州市に「ごみ分別3分間動画」を送りました

広州市ではごみの分別キャンペーンを行っているらしく、広州市婦女連合会から「広州各区の住民に福岡のごみ分別のやり方を紹介したいので、3分間のビデオをつくって提供してほしい」との依頼をうけました。

昨年は福岡市女性翼の会が広州を訪問して「3R(再利用、再使用、むだ減少)」の活動を紹介しましたので、翼の会の関係者と相談して、最も基本的な「家庭でのごみ分別」のやり方をスマホの動画で撮影し、WeChat で送信しました。素人の即席撮影でしたが、広州市婦女連合会からは喜びのお礼メールが届きました。ここから新たな分野の交流が開けることを期待しています。

<sup>\*</sup> 当倶楽部のHPとブログを開設しました。標記のアドレスに是非アクセスして下さい。

<sup>\*</sup>会費未納の方は、今年度会費の振込をお願いします。個人:3000円 団体: 一口 10000円

<sup>\*</sup>会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。連絡先: y-chiba@lychee-club. jp